

地域防災について



菊池 久光 議員

一般質問



小池 利雄 議員

大田原ブランドの推進について

質問…大田原ブランド推進協議会の進捗状況と今後の見通しについて伺います。

答弁…近年、地域のイメージを活用しつつ、一般の農林水産物や食品との差別化を図り、その価値、評価を高めようとする地域ブランド創出の取り組みが全国各地で活発に行われています。本市も、自然豊かな環境のもとで生産された農産物や加工品

等を市内外に継続的に情報発信を行うことにより、大田原市そのものがブランドとなり、そこから新たな産業が生まれ、雇用の確保や定住促進につながっていくものと期待をしています。

特に、本市の肥沃な大地で生まれ育った農畜産物については、市場においても高い評価を受けていることから、このブランド化の推進は本市の産業振興に

とっては不可欠なものです。今現在考えている支援策ですが、まず統一マークについて検討したいと思います。関係者の話によると、既に独自のマークがあつて、シールが幾つも張られるのはいかなものかというような話もあることから、これについては関係者の方々と協議をしながら進めていきたいと思つて

います。

質問…地域防災のハンドブックを作成してはどうかと考えるが、予定について伺いたい。

答弁…現在、昨年9月の関東・東北豪雨による河川氾濫を踏まえ、国が管理する河川において浸水想定区域の見直しが行われており、今後県が管理する河川においても浸水想定区域の見直しが予定されており、ハザードマップについても見直しが行わ

れる予定です。

浸水想定区域の見直しによる改定時において、総合的に検討し、次期改定の際には防災情報の内容の充実を図っていく形で、何らかの形のマップ等を作成していきたいと考えております。

質問…東京都の教育委員会が作成した東京防災ノートというものがあつた。防災教育の中での必要かと思うが考えを伺いたい。

答弁…議員ご提案の防災ノートは、児童生徒一人ひとりが防災を自分のこととして認識するためには有効なものであると考えておりますので、今後防災ノートを使用している自治体でどのように活用されているのか精査をすることから始めたいと思つております。